

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2011-523037(P2011-523037A)

【公表日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-031

【出願番号】特願2011-507535(P2011-507535)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 N 33/53 Z N A D

G 0 1 N 21/78 C

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 21/04

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/08

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年2月12日(2014.2.12)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0005

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0005】

本発明は、血清およびその他の生体サンプル中のHTレベルをスクリーニングする方法を提供する。上昇したHTレベルはRA等の自己免疫疾患と有意に関連することが示されたので、この測定は診断アッセイとして有用である。そのような診断アッセイは、個体が自己免疫活性と関連する疾患、例えばSLE、に罹患している可能性を予測するのに有用である。本発明はさらに、SLE等の自己免疫疾患に罹患した個体に対する適切な処置を決定する方法を提供する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

個体の血清中の増大したBlyS/APRILヘテロ三量体(HT)レベルを検出することにより、前記個体が全身性エリテマトーデス(SLE)に罹患している可能性を予測する in vitro方法であって、

(a) 前記個体に由来する試験生体サンプル中のHTレベルを測定すること、

(b) 前記レベルを、健常対照に由来するサンプル中のHTレベルと比較すること、および

(c) 前記試験生体サンプル中のHTレベルが前記対照サンプル中のレベルと比較して増大しているか否かを決定すること

を含み、

前記増大したHTレベルが全身性エリテマトーデス(SLE)と関連している前記方法

。

【請求項 2】

全身性エリテマトーデス(SLE)であると臨床的に診断された個体を処置するために最も効果的な処置計画を選択する in vitro方法であって、

全身性エリテマトーデス(SLE)であると臨床的に診断された個体に由来する生体サンプルを、血清中の上昇したBlyS/APRILヘテロ三量体(HT)レベルの存在または不存在について in vitroで分析すること、

前記生体サンプル中のHTレベルを、健常対照に由来するサンプル中のHTレベルと比較すること、および

前記生体サンプル中のHTレベルが前記対照サンプル中のレベルと比較して増大しているときに、HTアンタゴニストの使用を含む処置計画を選択すること

を含む、前記方法。

【請求項 3】

前記処置計画がHTアンタゴニストの使用を含む請求項2記載の方法。

【請求項 4】

前記HTアンタゴニストがBlySアンタゴニストでもある請求項3記載の方法。

【請求項 5】

前記HTアンタゴニストがAPRILアンタゴニストでもある請求項3記載の方法。

【請求項 6】

患者が全身性エリテマトーデス(SLE)に対する薬物処置に応答する可能性を予測する方法であって、

前記患者に由来する血清サンプル中の B L y S / A P R I L ヘテロ三量体 (H T) レベルを決定することを含み、

対照サンプルと比較して上昇した、前記患者サンプル中の H T レベルの存在が、前記患者が全身性エリテマトーデス (S L E) に対する薬物処置に応答する可能性の予兆である前記方法。

【請求項 7】

前記決定がルミネックス (登録商標) イムノアッセイを用いて行われる請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

前記薬物処置が H T アンタゴニストを含む請求項 6 記載の方法。

【請求項 9】

前記 H T アンタゴニストが B L y S アンタゴニストでもある請求項 8 記載の方法。

【請求項 10】

前記 H T アンタゴニストが A P R I L アンタゴニストでもある請求項 8 記載の方法。